# 高度通信・放送研究開発委託研究の評価について

高度通信・放送研究開発委託研究(以下「委託研究」とします)では、外部機関が持つ実績や知見を活用し、機構自らの研究との一体的な実施を行うことで効率化が図られる場合に、研究テーマや内容を指定して、大学や民間企業などの外部研究機関に研究を委託して研究開発を推進しています。

委託研究の評価については、外部の有識者による「高度通信・放送研究開発委託研究評価委員会」(以下「評価委員会」とします)を設置して行っています。

## 1. 評価の目的

個々の委託研究課題について、研究計画、研究成果等の妥当性を客観的に評価し、計画や資源配分等の見直し、機構における委託研究の企画・戦略に反映することを目的としています。

## 2. 評価の時期及び対象

委託研究の評価には、「事前評価」、「採択評価」、「中間評価」、「終了評価」及び「追跡評価」があり、それぞれ以下のとおり行うこととしています。

### (1)事前評価

新規に委託研究を開始する研究開発課題の研究計画等について評価します。

### (2)採択評価

新規に委託研究を開始する研究開発課題の受託希望者から提案された研究開発実施の内容等について評価します。

### (3)中間評価

５年程度以上の研究開発期間を有するものについて、３年程度毎を目安として、研究の進捗状況、その後の研究開発計画等について評価します。また、研究開発を継続すべき受託者の絞り込みや継続の妥当性を判断する延長判定を目的として行う場合があります。

### (4)終了評価

研究開発終了時に、目標の達成の程度、研究の成果、および追跡評価の必要性等について評価します。

### (5)追跡評価

研究開発終了後に一定の時間を経過してから、対象となる課題を選定

し、研究開発の成果の波及効果や活用状況等について評価します。

3. 評価体制

機構が研究開発する情報通信分野に精通した外部の有識者を委員とする評価委員会を設置し、研究開発開始時の事前評価から研究開発終了後の追跡評価まで一貫した評価を行っています。

4. 評価の方法

評価委員会の委員から、委託研究の課題毎に担当の委員を割り当てています。担当の委員は、受託者から提出のあった資料やヒアリング等に基づき、その課題に対する評価(案)を作成し、それを評価委員会で審査・決定します。

⑴事前評価

研究開発の必要性、期待される波及効果等の観点から評価を行います。評価項目毎及び全体を総括した総合評価として、３段階による評価点とコメントを付します。

３段階による評価点は、次のとおりです。

Ａ：適切である
Ｂ：概ね適切である。ただし、コメントのとおり軽微な修正が必要
Ｃ：大幅な計画変更が必要である

⑵採択評価

研究開発の目標・計画・方法、実施体制等の観点から評価を行います。評価項目毎に、５段階による評価点とコメントを付します。更に各評価項目の重み付けを乗じて合計点を算出し、全体を総括した総合コメントを付します。

５段階による評価点は、次のとおりです。

５：非常に優れている
４：優れている
３：適切である
２：物足りない
１：劣っている

⑶中間評価

目標の達成状況、今後の実施計画等の観点から評価を行います。評価項目毎のコメント及び全体を総括した総合コメントを付し、総合評価として

4段階による評価点を付します。

4段階による評価点は、次のとおりです。

S:非常に優れている
A:適切である
B:やや劣っている
C:劣っている

⑷終了評価

目標の達成状況、研究成果等の観点から評価を行います。評価項目毎のコメント及び全体を総括した総合コメントを付し、総合評価として4段階による評価点を付します。また、追跡評価の必要性についてのコメントを付しています。

4段階による評価点は、次のとおりです。

S:非常に優れている
A:適切である
B:やや劣っている
C:劣っている

⑸追跡評価

研究開発の成果の実用化、標準化等の観点から評価を行います。評価項目毎のコメント及び全体を総括した総合評価コメントにより、評価を行います。

高度通信・放送研究開発委託研究評価委員会 委員一覧（敬称略）

委員長：

中野　美由紀　情報・システム研究機構　理事
津田塾大学　新学部設置準備室　特任教授

委員：

石川　佳治　名古屋大学　大学院　情報学研究科　教授
猪俣　敦夫　大阪大学　情報セキュリティ本部　教授
坂上　雅道　金沢工業大学　バイオ・化学部　生命・応用バイオ学科　教授
三瓶　政一　大阪大学　名誉教授
重野　寛　慶應義塾大学　理工学部　情報工学科　教授
戸出　英樹　大阪公立大学　大学院　情報学研究科　教授
平野　琢也　学習院大学　理学部　物理学科　教授
松島　裕一　早稲田大学　次世代コンピューティング基盤研究所　顧問
村田　博司　三重大学　大学院　工学研究科　教授
山下　真司　東京大学　大学院　工学系研究科　教授

（令和8年7月現在）